

# 関係人口 受入事例集

vol.4



## 島根の輪を広げるきっかけに!

地域外に住みながら地域と多様にかかわる人たち「関係人口」。観光以上・移住未満の「関係人口」は近年、新たな地域活動の担い手、サポーターとして注目を集めています。

そこで私たちは、しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち!」を立ち上げ、《地域の方と関係人口が一緒になって地域に変化を起こす》活動のお手伝いをしています。

この冊子では、「しまっち!」などを介し、実際に関係人口と一緒に地域づくりに挑戦しているみなさんをご紹介します。

公益財団法人 ふるごと島根定住財団

Let's expand the circle!

“やってみたい”と“手伝って”をマッチング





定期的なプログラム活動で

“自然と共生”ファンが拡大中!

CASE 1

# NPO法人かえる倶楽部

自然にかえる、地球の未来を考える、ゴミを宝に変えるなど、さまざまな意味を持つ「かえる」が団体の行動方針のキーワード。誰もが安心して健康に暮らすことができる社会、自然そして微生物との共生を目指して活動しています。地域活動への参加や講演会のほか、最近では自家EM\*農園をフィールドにしたプログラムも精力的に開催。人から人へ、理念に共感する“かえるファン”の輪が拡大し、サポーターの中から複数回プログラムに参加するリピーターもできました!

\*「EM」とはEffective (有用な) Microorganisms (微生物たち)の頭文字に由来。人間にとっていい働きをしてくれる微生物の集合体の総称であり、乳酸菌や酵母、光合成細菌など、どこにでもいる微生物です。



しまっち! DATA

- プログラム募集の利用回数…14回
- サポーター申込者……………87人

開催プログラムは **14** ~過去の事例の一部をご紹介します~

## 地域のライフラインである井戸を復活



- 非常時の水源にもなる井戸づくりを手掘りで実施
- 井戸掘りのプロを招いて技術の継承も狙った
- 反響が続々!“うちにも”とのリクエスト多数

## 共同で使える掘っ立て小屋をDIY



- 貸農園で誰もが使える農機具小屋を作りたい!
- パレットなど、身の回りの資材を活用
- 理念に共感した県外からのサポーターが駆け付けた

## 農業の未来を担う!?! 多年草栽培の稲刈り



- 小コスト・小規模で栽培できる多年草栽培は注目度が上昇中
- 直前の募集ながら2日間で合計16名が参加!
- 親子連れも多く、無農薬の田んぼの自然の豊かさを満喫♪



## 「無煙炭化器」による竹炭作り

- 土中の微生物を豊かにする竹炭を「無煙炭化器」で手作り
- サポーターに加えて近隣住民が差し入れを持って来てくれた
- 交流会(ランチ)を通じて思いを共有し、関係性をグッと縮めた

しまね社会貢献基金制度を活用したクラウドファンディング「地球のために竹炭作るう♪」も達成!





アドバイザー（井戸掘り）



次回アドバイザーに  
（掘って立て小屋作り）



## アドバイザー派遣制度を活用！ 専門家の活躍でその後の活動が前進

以前から知り合いだった方を井戸掘りプログラムで、アドバイザーとしてお招きしました。技術だけでなく、その方の前向きな姿勢がサポーターを感化。技術以上にチームワークの素晴らしさを実感しました。また、井戸掘りの時に活躍されたサポーターが、次の掘って建て小屋作りではアドバイザーとして来ていただくなど、縁が縁をつないだ形になったのも印象的です。

## リピーター続々！ 開催“後”のつながりも創出

「うちの地区でも“無煙炭火器の竹炭作り”をやって欲しい！」とのオファーがあり、他地区に向向いて開催しました。その際も「しまっち！」を利用しサポーターを募集しましたが、開催場所が変わっても参加してくれる方、活動レポートや記録係をしてくれる方もおられ、非常にありがたかったですね。無農薬栽培などサポーターは関心のあるテーマが同じということもあり、参加後にサポーター同士で情報交換も積極的にされているようです。

## 共感者が集まることで 団体本来の目的を達成

参加しやすい体験型プログラムを複数回開催することで、私たちの考えに共感いただける方とのつながりが生まれました。顔の見える関係、考えに賛同する関係、そういった関係性の醸成がクラウドファンディング達成の要因になったと思います。寄付が集まったのは本当にうれしかったですね。

## 多数開催した結果分かってきたプログラム開催のコツ！

- 申込者への連絡はマイページ「一括メール送信」が便利！
- 迷わないように、集合場所に目印看板を立てている。
- 集合したらニックネームを記したテープを貼ってもらうと会話がスムーズに。
- 始める前にプログラムの流れやサポーターにやってもらう事を説明。
- サポーター同士の交流を意識。
- 簡単な自己紹介があると、プログラム中や休憩中に交流しやすい！
- 作業中や交流している様子を写真に撮っておくと、レポートや次回のプログラム作成時に役立つ。
- 「しまサポ助成金」の申請を忘れないように、締切日を案内。
- 参加証を渡す時に、「しまサポ助成金」の申請書類も用意している。



サポーター      オーナー



## 詳しい活動の様子はこちら！

プロジェクトの歩み、活動の詳しい様子などは、しまっち！サイト上で公開しています。





人手不足で名物の祭りが開催の危機!  
助かる人手と、思わぬ効果が!!

CASE 2

# 伝統芸能と光の祭典 実行委員会

※登録オーナー名は  
「都賀本郷連合自治会」



しまっち! DATA

- プログラム募集の利用回数…2回
- サポーター参加者……………4人

地域住民の生活支援、防災対策、小さな拠点づくりなどを精力的に行っている美郷町の都賀本郷連合自治会。2008年からは、都賀本郷・長藤・上野の3地区が連携して、伐採した竹材を使ったライトアップ×夜神楽のイベント「伝統芸能と光の祭典」をスタート。里山の維持、担い手確保、文化継承という地域課題を、祭りを通して解決すべく活動しています。

### 地域の可能性がグングン上昇!

昨年度、美郷町と定住財団が開催した集落支援員向け関係人口セミナーに参加した際に、初めて「しまっち!」を知りました。「イベントのために1人でも手伝ってくださる方がいれば」とプログラム掲載にチャレンジ。新たな取り組みをイチから起こすのではなく、これまでの取り組みにプラスしてチャレンジしたことで、低いハードルで実施できました。イベント当日は、同時期に受け入れをしていた国際ワークキャンプの海外青年たちとも一緒に活動&交流する場面がありました。想定外の効果もあり、地域の可能性の広がりを感じています。

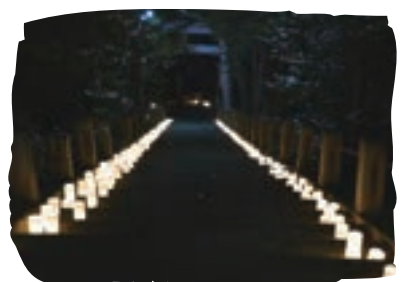
### 地域の年中行事で

#### しまっち!プログラムにチャレンジ!

都賀本郷連合自治会では、毎年10月に地域の目玉イベントとして都賀本郷・長藤・上野の3地区が連携して、伐採した竹材を使ったライトアップ×夜神楽をコンセプトにしたイベント「伝統芸能と光の祭典」を開催しています。昨年度、美郷町初のしまっち!プログラムとして掲載し、今年度も2年連続で掲載しました!



斜面や階段への  
灯籠の設置に、  
サポーターのみなさん  
が大活躍!



### 都賀本郷連合自治会のみなさんと、 しまっち!サポーターのみなさんが 取り組んだこと

- 竹灯籠の設置。
- 竹灯籠への点火作業。
- おまけ: 楽打ち、石見神楽などの伝統文化の鑑賞。
- おまけ: 現地のみなさん、国際ワークキャンパーとの夕食会。

### 「しまっち!」で実感できた効果

- 人数が多くなることでの作業負担を軽減。
- 地域外の方へ美郷町や自分たちの取り組みを知ってもらうことができた。
- 地域外の方に関わってもらうことで、地域内の方が地域に誇りを持つ成功体験に。

### 詳しい活動の様子はこちら!

プロジェクトの歩み、活動の詳しい様子などは、しまっち!サイトで公開しています。



# ほる え コウトリの会 春殖 (雲南市) の場合

詳しい活動の様子はこちら!



しまっち! DATA

令和5年度

令和6年度

- プログラム募集の利用回数…1回 → 4回
- サポーター申込者……………0人 → 7人



## Before

コウトリの保護環境整備に尽力  
初回は参加者ゼロだったけど…

“幸せを運ぶ鳥”といわれるコウトリとの共生を目指し、餌場の環境整備などを行っています。しかし、団体の認知度はまだまだ低く、すべきことの多さに比べ手が足りない状態。「しまっち!」に期待してプログラムを掲載しました。初回のサポーター数はゼロでしたが、情報発信の期待も込めて継続することに。

## After

高齢化地域に大学生を含む若手が!  
他団体の事例も知れて学びも

2023年の初掲載からコツコツ続け、2024年夏には大学生や旅行がてらに県外から来たサポーターが集まりました!サポーターのコメントも励みになり、これからも関係人口を増やし、人流を作っていきたいです。また、サイト上で他団体の情報を見られるため活動の勉強にもなっています。

変化ゾクゾク!  
しまっち!

Before

After



「しまっち!」の継続利用で、活動の内容や参加者に変化が起きた2団体をピックアップ!

## Before

人手不足で募集をかけるも  
参加者が集まる?社員の負担増?  
と疑心暗鬼に…

耕作放棄地でのゆず栽培を進めています。管理は場が増え収穫量が増加。人手不足の解消を期待してサポーター募集するも、現場からはサポーターが集まる?逆に社員の手間が増えるのでは?と疑念の声。そして正直なところ、プログラム作りが面倒だと思っていました。

オーナーの声

難しく考えず  
「今の活動・日常を伝える」  
ことが、ひいては人や心を  
動かすきっかけに!

## After

特別なフォローがなくても満員御礼!  
他団体とのコラボ企画で交流機会が増加

当初の不安とは裏腹に多数の参加サポーター、想定以上の収穫量があり、社員一同ビックリ。作業を通じて他地域のひととのコミュニケーションが図れ、社員のモチベーションアップにも。さらに、他団体とコラボ企画をしたり、近隣の自動車学校の入校者が収穫体験に来られたりと、団体同士の交流も活発になりました。

# (株)美都森林(益田市)の場合

しまっち! DATA

- プログラム募集の利用回数…3回
- サポーター申込者……………28人

詳しい活動の様子はこちら!





どうやって使う？

どんなサイト？

# 「しまっち！」で できること・叶うこと

「しまっち！」とはどんなサイト？

島根といろいろなかわりを持つ、観光以上・移住未満の「関係人口」と呼ばれる人たちと、島根の地域団体のみなさんをつなぐウェブサイトです。島根の地域団体がプログラム主催者（オーナー）となって、さまざまなイベント・企画を掲載でき、お手伝いなどの関係人口（サポーター）を募集できます。みなさんの“叶えたい目的”に応じて、参加者を募る「プログラム」、活動を知ってもらうための「コミュニティ」、活動報告の「レポート」のいずれも無料で利用いただけます。お気軽にご活用ください！

利用イメージ

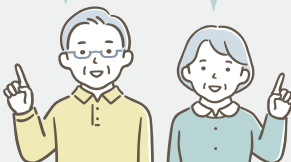


## しまっち!

しまね関係人口マッチング・交流サイト

手伝って欲しい!

一緒に作り上げたい!



オーナー

島根の地域団体等がプログラムの参加者を募集



地域貢献したい!

子どもと一緒に地域活動してみたい!

地域の人とつながりたい!



サポーター

地域活動に前向きなサポーターが気になるプログラムに参加

メリット&得られること

サポーターの参加が手の足りない活動の一助に



意見交換やアイデア募集など、交流を通して新たな発見が得られるかも

自分たちの活動を知ってもらえる! 広報ツールとしても活躍



地域外の人が地域に飛び込むことで地域内の交流や活動も活発化!

外からの客観的な意見が地域内の人たちのモチベUPに貢献



例えばこんな使い方

- ✓ 昔から開催している**イベント・祭事**の運営助っ人を募集
- ✓ 草刈りをはじめとする**美化活動**の手伝いを募集
- ✓ **商品開発**などのアイデアを募るオンライン企画への参加募集
- ✓ **県外開催**のイベントで現地サポーターを募集



プログラム一覧はこちら▶



## オーナー登録でできること

### 1 プログラム・コミュニティ・オーナー情報の掲載



**プログラム** ..... オーナーのやりたいことや困りごとについて、サポーターの参加を募り、課題の解決や目標達成を目指すもの。募集の目的や背景をしっかりと記すことで、より活動に共感するサポーターが集まります。

**コミュニティ** ..... オーナーのやりたいこと、困りごとについて、広くサポーターとディスカッションする場。アイデア募集やちょっとした相談事などにも活用でき、サポーターとの関係づくりに役立ちます。

**オーナー情報** ..... これまでの活動実績、今後の活動の展望、保有しているWEBサイトやSNSアカウントなどを掲載できます。

### 2 活動レポートの作成



プログラムやコミュニティの実施結果を掲載する記事のこと。レポートはサイトに公開されます。興味を持ちながらも参加できなかったサポーターへ情報提供することで、次回以降の参加につなげたり、振り返りを記すことで参加してくれたサポーターとの絆を深めたり。サポーターとの関係構築に役立ちます。



### 3 コメント機能



掲載しているプログラムやコミュニティについて、サイト上でサポーターと交流を図る機能。サポーターからの応援メッセージや質問、相談などの投稿に対し回答することで、交流を深められます。コミュニティの場合、このコメント機能でテーマについてサポーターとディスカッションすることも可能です。

### 4 申込者・サポーターへメール送信



プログラムの募集終了後、参加サポーターへの連絡をメールで一斉送信できます。天候の悪化等でプログラムが中止となった場合などにも、スムーズに連絡をとることができます。また、次回の開催をお知らせしたり、メールマガジンのように近況を送信したりと、コミュニケーションツールとして活用できます。

## 利用オーナーの声!



- ◎ 財団担当者さんが親切!**地域の応援団**が増えていくのが楽しい。<隠岐ジオパークツアーデスクさん>
- ◎ **参加サポーターの名簿をすぐに作れ、参加者管理できる**ので開催の負担軽減につながっています <かえる倶楽部さん>
- ◎ **情報発信**をお考えの団体さんにはオススメです! <カウントリの会春殖さん>
- ◎ **いいねボタン**があり、ユーザーの盛り上がりが見えるのはいいですね~<隠岐の島町地域振興課さん>
- ◎ 何がきっかけで地域のファンになるかわからないので、**まずはやってみる!**ことから始めてみるのも◎ <美都森林さん>



## しまっち!

しまね関係人口マッチング・交流サイト

利用実績 2024年10月31日現在

地域団体等 (オーナー) の団体数	関係人口 (サポーター) の人数	プログラム 数	マッチング 数	延べ 申込者数
157団体	1,432名	283件	207件	944名

ちょっとでも気になったら、  
まずはお問い合わせください!



公益財団法人ふるさと島根定住財団

TEL : 0852-28-0690 (松江事務局 地域活動支援課)

TEL : 0855-25-1600 (石見事務所)



# 自治体が旗振り役となって 関係人口の拡大にチャレンジ中

離島・隠岐の島町では、役場が主体となって関係人口の拡大に挑戦中。最近はその動きが「官から民へ」と、地域団体へ波及し活発化し始めています。

## 軸となる取り組み

### 町独自の「つながり会員」制度を創設 継続的なつながり構築に注力

町として関係人口の拡大・創出を検討し始めた際、関係人口の裾野は広く、地域課題の整理やその解決のため関係人口をどのようにつなぐのか、方法が見出せないことから、関係人口の見える化・情報発信・ご縁をつなぐ等を主たる目的として会員1,000名を目指して始めました。

会員のみなさんに向けて町内の行事やトピックス、県外で開催する移住イベントの情報発信をしたり、オンライン座談会をしたりと、隠岐の島町との“つながり”を持っています。

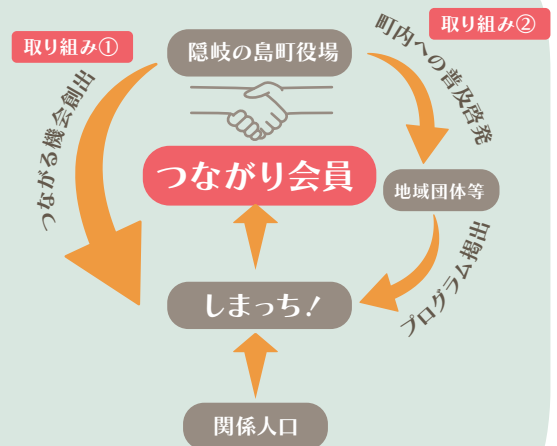
まだ実現していませんが、関係人口になること具体的なメリット・特典も作り考えています(会員カード提示で交通や島内店舗・飲食店が割引になる等)。

登録者全員に配布する  
「つながりカード」

隠岐の島町に関心の高い人とつながれるので、意見を聞く、参加の呼びかけもスムーズに!



詳しくはこちら!



関西在住の  
隠岐の島町ファン



## 取り組み①

### 役場自ら「しまっち!」活用。“つながる”機会を創出

友好都市である隠岐の島町と大阪府豊中市。20年以上前から毎年、豊中市の夏祭りに隠岐の島町産品を販売する屋台を出店しています。関西に住む「つながり会員」や、隠岐の島町ファンと“つながる”場を作りたく、隠岐の島町役場がオーナーとなり、2022年に初めてしまっち!プログラムを掲載しました。するとあっという間にサポーター申し込みが満員御礼。以降、毎年プログラムを掲載し大阪でサポーターとの交流を図っています。

また、「しまっち!」の参加条件に「つながり会員」の登録を設けることで、会員数増加にもつながりました。



大阪府豊中市の祭りに出店する際に「しまっち!」でサポーターを募集



## 取り組み②

### 町内団体との連携

#### 「関係人口」をテーマにセミナー開催

隠岐の島町内で活動する区・自治会などの地域組織、各地区公民館、事業者・地域団体を主な対象として「関係人口」をテーマにセミナーを開催しました。

町の現状と今後の展望や「しまっち！」を紹介し、終盤は参加者自身の地域を振り返りながらお互いの課題を共有し、関係人口との結びつきをまとめるグループワークを実施。そこから具体的なプログラムも生まれました。



### 掲載したプログラム

- ・竹垣づくりのお手伝い
- ・海ごみ清掃活動
- ・隠岐古典相撲大会ライブ配信
- ・大満寺山登山道整備
- ・豊中まつり隠岐の島町ブースのお手伝い など



## Pick up!



### 隠岐ジオパークツアーデスクでは “島旅ついでに”を合言葉に プログラム化

今年度、来島のきっかけになればとの思いで、島民向けのビーチクリーンを初めてプログラム

化。すると島内外から15名、中には『しまサポ助成金』の後押しもあってか東京・大阪の遠方から参加するサポーターが！当日、親子で参加していた島の住民と、島外からのサポーターが仲良く会話しながら活動する姿が見られるなど、関わりが生まれるのも良かったです。

隠岐が抱える海洋ごみ問題にふれてもらいました。



詳しい活動の様子はこちら！



遠方からの参加の一助に！

## しまサポ助成金

詳しくはこちら▼



「しまっち！」にサポーター登録し、「しまっち！」を通じて助成対象プログラムに申込・参加した場合の交通費と宿泊費を一部支援する制度。県内外問わず活用できる助成金なので、「しまっち！」のプログラム参加がしやすくなります。詳しくは定住財団へお問い合わせください。

### しまサポ助成金 (しまっち！サポーター地域活動参画助成金)

対象	しまっち！にサポーター登録し、しまっち！を通じて助成対象プログラムへ申込・参加された方
対象経費	プログラムに参加するために居住地から目的地の間を移動する際に要する交通費(片道分)、宿泊費(半額)
助成限度	1回につき上限10,000円、1名につき2回まで

### 担当者の声

#### 隠岐の島町役場地域振興課のみなさん



今後も「つながり会員」制度を軸に、関係人口を見える化し拡大していきたいです。

役場のみならず町民の方々や、地域の事業者・団体のみなさんと一体となって進めるために、どんどん「しまっち！」を紹介して活用の輪が広がるとうれしいです。

自治体として「しまっち！」を利用する良さは、自治体単独のネットワークだけではカバーできない層にまで情報をお届けできることだと思います。

# 関係人口が地域に滞在して一緒に活動! 滞在型プログラム がスタート



初年度は計6名のサポーターを2団体が受け入れ

特定地域に1～3ヶ月の間、中期的にサポーターが滞在して、地域の一員として地域活動を行う「滞在型プログラム」。初年度の受け入れ先となった2団体から実際の様子を伺いました。

## 滞在型プログラムの狙い

普段の地域生活における、ふとした「手伝って欲しい・人手が足りない」を支えるためには、その時その場にいる(＝滞在している)必要があると考え、今年度試験的にスタート。一番の目的は、地域の「日常」(交流サロン、移動販売、祭りやイベントの会議など)のサポート。加えて1ヶ月以上、地域外の人が滞在すると、地域住民やサポーターにどのような変化が生まれるのか検証の狙いも。

### 受け入れ団体1

## え〜ひだカンパニー

@安来市

活動内容

- ・カフェ・市場のお手伝い
- ・移動販売のサポート
- ・POPづくり
- ・比田踊り練習会への参加
- ・サマーフェスタ準備及び運営スタッフ
- ・視察資料の校正 など

「今日も、明日も、10年後もずっとえ〜ひだ(比田)」を合言葉に持続可能な地域づくりを実践。88の戦略プランからなる地域ビジョンの達成を目指し活動しています。



合計3名の滞在サポーターを受け入れ  
地域の魅力の再発見が続々と

「地元のイイところを外からの視点で発見してもらい、ファンになってもらえたら」そんな思いで3名の方を受け入れました。周辺の夏祭りや安来の観光スポットに出かけ、私たち自身も比田の魅力を再発見できました。そのほかにPOP・視察資料といった形に残るものを制作してもらいました。受け入れは体力を使いますが、その分、達成感と喜びはひとしおですね!

## 地元住民からは歓迎の声 長期受け入れならではの課題も

短期・単発のイベントお手伝いなどは違った組み立てが必要不可欠。手探りではありましたが、若い人が来てくれてうれしい、比田のことを広めて欲しいなど、地元住民からは前向きな声が続々と。さまざまな体験、人との交流、飲みにケーションと、深くつながれたように思います。



## 参加サポーターの声

孤立しないか不安だったけど  
地域貢献の形を見つけたいと応募

地域の方とふれ合い、話に耳を傾けることで、私にできる地域貢献とは?を見つけたいと考えて応募。知り合いがいない町で孤立しないか不安でしたが、祭りの準備やミーティングに加わるなど、地域の方々とふれ合う中で、第二の故郷のように感じるようになりました。

伝統を重んじる地域性を体感  
比田のツアー企画立案を目指して!

お盆に帰省して来られた方が家族揃ってカフェへ来られる姿を見て、家族をととても大切にしている地域なんだと体感。何気ない風景から地域性を感じられるのも魅力でした。勤務している旅行会社のツアーで、いつか比田を舞台にした企画を作りたいと目論んでいます!



滞在サポーター







## 受け入れ団体2

# みざわ小さな拠点づくりの会

@奥出雲町

活動内容

- ・移動販売のサポート
- ・交流サロンの手伝い
- ・デマンド交通の運転手
- ・地区の夏祭りの準備、当日の進行役
- ・ゲストハウスのリノベ手伝い
- ・地区のお宅を訪問してインタビュー。それを記録に残す

地区の商店の閉店をきっかけに、「人と人とのつながり」を取り戻すため2019年に発足。「ともにマーケット」や移動販売「ともに号」の運営、賑わい創出イベントの企画などに取り組んでいます。

## 滞在サポーター



## 必要なのは衣食住ならぬ“移職住” 地域の受け入れ体制向上にも寄与

最初こそ都会地からの来訪者に戸惑っていた住民たちも、時間の経過とともに滞在サポーターがいることが当たり前。外からの協力者に理解が深まることで、受け入れ体制がさらに整っていくと思います。今回の受け入れを通して、「移」(移動手段)・「職」(仕事/役割)・「住」(住居/拠点)の環境整備と地域側にコーディネーターを配置する必要性を感じる機会にも。

## プログラムの選び方は要検討!?

### 時間をかけて関係構築は◎

受け入れ側が必須で頼みたい必修科目と、サポーター自身が自由に選べる選択科目のような活動メニューがあると、双方にとって動きやすくなりそう。滞在型はじわじわと団体・地域との関係性を築いていける点がいい。また、滞在サポーターが日常を長期間離れるため、移住というより人生を見つめ直すきっかけの場となるのでは？

## 受け入れ環境など不安だらけ それでもファンづくりのために挑戦

長期受け入れは今回が初。宿泊や移動手段などの受け入れ体制が大丈夫なのか、滞在中にはどんな人と活動とつながれば、滞在サポーター・地区双方がWIN-WINになれるのか悩みは尽きませんでした。それでもプログラム終了後も第二の故郷として関わり続けて欲しいと思い滞在型に挑戦!



## 滞在サポーター

## 参加サポーターの声

### 未知の場所での長期滞在 不安を払しょくする圧倒的な熱量

「個人の自由に託されている」印象があり、活動のイメージが湧かずに期待と不安が入り混じる中スタート。けれど地域交流を進めるうち、地域で暮らす方々のワクワク感、そしてその熱量を体感。自身のモチベーションもグングン高まってきました。

### 地域の賑わいの中で暮らしたい! お試し移住をスタート

滞在中は何気ない差し入れのやり取りなどを通じて、人としてのあり方や自身の言動を見つめ直すいい機会に。活動を続けるうち、この地域で暮らしていきたいという思いが強まり、お試し移住を開始。イラストやデザインの仕事にも挑戦でき、自分の夢が多面で実現できました!



ふれる、あじわう、おはなしする



しまね関係人口マッチング・交流サイト

を通して地域外の人と関わりを持つことで  
“なりたい未来”を後押しします

私たち、ふるさと島根定住財団では、移住・定住だけでなく、  
活力と魅力ある地域づくりを促進するべく、  
コミュニケーションの手間を惜しみません。  
今回の事例集でご紹介した事例は、ほんの一部。  
地域団体によって、かかわり方もプログラムの内容も、  
もちろん目的も異なります。  
「私たちならどんなコトができるだろう？」そう思ったら、  
まずはご連絡ください。みなさんからの  
「ちょっと聞いてみたいんだけど」を  
心待ちにしています！

お問い合わせ・発行元： **公益財団法人 ふるさと島根定住財団**

松江事務局 (地域活動支援課) 〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階  
TEL : 0852-28-0690 E-mail : chiiki@teiju.or.jp

石見事務所 〒697-0034 島根県浜田市相生町1391-8 シティパーク浜田2階  
TEL : 0855-25-1600 E-mail : iwami@teiju.or.jp

県内市町村の下記窓口でも関係人口の受入れについてご相談いただけます。

松江市	定住企業立地推進課	TEL   0852-55-5215
浜田市	定住関係人口推進課	TEL   0855-25-9511
出雲市	政策企画課	TEL   0853-21-6612
益田市	連携のまちづくり推進課	TEL   0856-31-0173
大田市	まちづくり定住課	TEL   0854-83-8030
安来市	やすぎ暮らし推進課	TEL   0854-23-3178
江津市	地域振興課	TEL   0855-52-7926
雲南市	政策推進課	TEL   0854-40-1011
奥出雲町	政策企画課	TEL   0854-54-2514
飯南町	まちづくり推進課	TEL   0854-76-2864

川本町	まちづくり推進課	TEL   0855-72-0634
美郷町	美郷暮らし推進課	TEL   0855-75-1212
邑南町	地域みらい課	TEL   0855-95-1117
津和野町	つわの暮らし推進課	TEL   0856-74-0092
吉賀町	企画課	TEL   0856-77-1437
海士町	還流DX特命担当	TEL   08514-2-2446
西ノ島町	政策企画課	TEL   08514-6-0028
知夫村	地域創生課	TEL   08514-8-2211
隠岐の島町	地域振興課	TEL   08512-2-8570

2024年11月30日現在